



—活動報告—

中東情勢講演会：最近のリビア情勢（足木 孝 前駐リビア特命全権大使）

11月14日（14:00-15:30）、フォーリン・プレスセンター「会見室」にて、下記のとおり中東情勢講演会を開催しました。

講 師：足木 孝 （前駐リビア大使・現中東・北アフリカ担当大使）

演 題：最近のリビア情勢

足木大使は、2013年3月のリビア着任時から2014年7月の在リビア大使館閉鎖までの政治・治安状況について、経験を交えながら説明されました。カッターフィー体制崩壊後の新政権成立の過程について、大使は、民主化プロセスの中で想定外の動きが生まれた結果、政治過程が不透明になり混乱していったとされ、治安問題では、地域間対立の存在や民兵の正規軍への移行過程で命令系統の一本化ができなかった点を指摘されました。今後の見通しについては、国連が行っている国民対話の中で、実力者らの間で一定のコンセンサスができ、それを基盤として、国内秩序が再編成されることに期待を表明されました。



質疑応答では、外国の干渉やリビア経済の復興の見通しなどが取り上げられました。

本講演はオフレコで行われました。また講演内容は、講師の個人的見解であり、講師の所属先の立場や見解、認識を代表するものではありません。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799